

愛知学院大学歯学・薬学図書館情報センター

Aichi Gakuin University Dental and Pharmaceutical Library and Information Center

〒464-8650 名古屋市千種区楠元町1-100 電話052-751-2561(内線1606~1608) <http://www.slib.aichi-gakuin.ac.jp/>

申請した平成18年度私立大学等経常費補助金が採択されました

教育・学習方法等の改善分類イで補助金の申請をした「教育課程に準拠した情報提供支援システム構築の推進」と「教育課程に準拠した指定図書・課題図書の整備・充実」が新規採択され、文部科学省のホームページに紹介されています。これは、平成17年4月に「歯学部分館」が組織変更され、花村教授がセンター長に就任した際に、中長期計画を策定して、専任職員と委託スタッフが協力してきた成果のひとつです。

平成18年3月に科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会学術情報基盤作業部会から「学術情報基盤の今後の在り方について」という報告が出て、大学図書館は大きく様変わりしています。学術リポジトリや情報リテラシー教育の推進が重要なサービスとして指摘されています。歯学・薬学図書館情報センターでは、これらの点を考慮して、歯学会誌や学位論文のWeb公開等のサービスに取り組みたいと思います。

平成18年11月の利用状況

(1)開館日数及び入館者数(昼間・9:00~16:45、夜間・16:45~19:00)

	開館日数		入館者数		合計
	昼間	夜間	昼間	夜間	
楠元	24	20	2,893	1,373	4,266
末盛分室	24	20	4,723	3,325	8,048
合計			7,616	4,698	12,314

学外利用者(登録なし)	楠元	6名	末盛分室	0名
-------------	----	----	------	----

(2)帯出冊数

	教職員	学生	その他登録者	合計
冊数	146	986	1	1,133

(3)帯出人数

	教職員	学生	その他登録者	合計
人数	63	300	1	364
「学生」のうち				
歯学部学生		198		
薬学部学生			15	

(4)-1文献相互貸借依頼件数 (4)-2図書・雑誌貸借依頼件数

	件数		件数
学外受付	188 (67)	学外貸出	0 (0)
学外依頼	186 (15)	学外借受	0 (0)
合計	374 (82)	合計	0 (0)

※()内数字は大学図書館以外

11月の統計上の入館者は、左表のように12,314名で昨年の11,659名に対して、655名増加し、前月の12,211名に対して103名増加しました。しかし、帯出冊数は昨年に比べて28冊減少、帯出人数も397名減少しました。

入館者の数は増加していますが、現在の入退館システムでは、閲覧席が無くて直ぐに退館した利用者も1名の入館者になります。ほとんどの学生利用者が歯学部・薬学部の学生なので、授業の合間に図書館を訪れる時間は集中してしまいます。学生から「何時行っても図書館は満員で座れない」という不満がでることを心配しています。

大学以外からの文献受付の割合が増えているようです。これは、本学が地域の病院図書室や公共図書等に所蔵資料を提供し、貢献しているということになります。

○**ベストリーダー** この1ヶ月間に4回貸出された図書は以下の3冊でした。5回以上はありません。3回貸出されたものは11冊ありました。

4回 歯学生のパーシャルデンチャー 三谷春保/編 医歯薬出版, 2004.3

4回 コンプリートデンチャーテクニック 平沼謙二/ほか編 第4版 医歯薬出版, 1996.4

4回 歯科鑄造の話 井田一夫/著 クインテッセンス出版, 1987.8 (Quintessence books)

○**廃棄図書をリサイクル用に提供します** 所定のブックトラックから自由にお持ちください。

○**次号から、「AGUD・P Library News」の紙での発行を縮小し、紙の配付を休止します**

「<http://www.slib.aichi-gakuin.ac.jp/LN/LibraryNews.htm>」をご覧ください。創刊号から見られます。

歯学・薬学図書館情報センターカウンターには若干置いておきます。紙が必要な方は、お申し出ください。

外国雑誌を手にとって見る意義

愛知学院大学学術情報基盤の整備充実を求めて



☆高価な外国雑誌は貴重なコレクション

上の写真は、愛知学院大学歯学・薬学図書館情報センターで、平成 19 年度に購読が継続できた冊子体外国雑誌のうち金額が高い上位の 6 誌です。

写真の左下が「Brain Research」で、平成 19 年度契約額は、「Protocols・Molecular・Reviews・Cognitive・Developmental・Molecular」との 6 セット価格で 3,562,487 円です。県内の医学系図書館では、名大で冊子体を購読しています。一部は名市大でも購読しているようです。写真の左中が「Biochimica et Biophysica Acta (BBA)」で、「Bioenergetics・Biomembranes・Gene Structure and Expression・General Subjects・Molecular and Cell Biology of Lipids・Molecular Basis of Diseases・Molecular Cell Research・Proteins and Proteomics・Reviews on Cancer」との 9 セット価格で 2,480,205 円です。県内では、藤田保健衛生大学で一部購読しています。

写真の左上は「European Journal of Pharmacology」で価格は 1,575,154 円です。藤田保健衛生大学で冊子体を購読しています。以上 3 誌は歯学部予算で購読しています。写真右下の「Tetrahedron(including Tetrahedron:Asymmetry)」(2,775,087 円)、右中の「Tetrahedron Letters」(1,974,273 円)と右上の「International Journal of Pharmaceutics」(1,284,948 円)は、薬学部の増設に伴って購読しました。この 3 誌の冊子体は県内では本学だけが購読しています。歯学・薬学図書館情報センターで、平成 19

年度に購読することができた冊子体外国雑誌は 275 タイトル、76,781,863 円です。そのうち、50 万円以上の高価な雑誌が 51 タイトルあり、恵まれています。平成 19 年度に購読を継続した雑誌は、歯学・薬学図書館情報センターのホームページで公開しています。

☆理事会の配慮で利用者の必要度を充足

歯学・薬学図書館情報センターの多くの医学・歯学雑誌が全学の医療系の研究を支えています。また薬学雑誌も豊富に揃いました。しかし、機会あるごとに報告し、説明していますが、1980 年代以降の外国の学術雑誌の価格は一貫して上昇を続け、北米では雑誌の危機、「シリアルズ・クライシス (Serials Crisis)」が進展しています。我が国にもその影響が及び毎年 10%前後の価格高騰が続いています。これに対応するために、平成 16 年度の契約から業者への相見積りや必要度調査を実施してきました。その結果、平成 18 年度契約では、ハードカバーを含めて 55 タイトル、平成 19 年度契約では、34 タイトルの冊子体外国雑誌の購読を中止しました。平成 19 年度には、歯学部図書委員会で綿密な調査を実施し、検討していただきましたが、当初は 70 タイトル程度の購読中止が必要でした。しかし、学院長始め法人理事会の「急激な学術雑誌のタイトル削減は、研究・教育に支障をきたす」という配慮と館長・センター長ほか図書館スタッフの熱意と全学商議員の理解で、平成 19 年度は 34 タイトルの削減で済みました。利用者が必要とする雑誌の購読維持が可能になりましたが、それでもこの 2 年間で歯学・薬学図書館情報センターでは 89 タイトルの冊子体外国雑誌が無くなったこととなります。

☆冊子体雑誌購読の検討の必要性

冊子体には、電子ジャーナルでは得られない利点もありますが、契約形態によって、ほとんど電子ジャーナルで閲覧できます。しかし、冊子体を中止すると、電子ジャーナルが値上りするものもあります。今後は、全学的にコア雑誌の選定を進め、利用の少ない冊子体中止の検討をする必要があります。(作野)